

(別紙 8)

山口県におけるジビエ利用拡大のための狩猟捕獲支援に係る評価報告

1 本事業で実施した取組実績

(1) 狩猟捕獲経費支援の取組

- ・受託者名：俵山猪鹿工房 想、一般社団法人日本ジビエ連合会
- ・支援を行った狩猟者数：11 名
- ・支援を行った捕獲頭数実績：ニホンジカ：148 頭、イノシシ：42 頭
- ・狩猟全体における捕獲頭数：ニホンジカ：1,839 頭、イノシシ：5,694 頭

(2) 処理加工施設における取組

- ・受託者名：俵山猪鹿工房 想、一般社団法人日本ジビエ連合会
- ・説明会での指導内容、開催回数、参加人数  
処理施設から猟友会その他狩猟者へ本事業について個別に周知を図った。
- ・持込を行った狩猟者数：11 名
- ・受け入れた捕獲個体数：ニホンジカ：159 頭、イノシシ：47 頭
- ・廃棄物処分量：3,615 k g

注 1：(1)の取組実績として、受託者名、ニホンジカ及びイノシシ別に支援を行った捕獲頭数実績及び狩猟全体における捕獲頭数等を記入する。

注 2：(2)の取組実績として、受託者名（施設名称）、講習会等の指導内容、開催回数、参加人数、持込を行った狩猟者数、受け入れた捕獲個体数（ニホンジカ及びイノシシ別）及び廃棄物処分量等を記入する。

2 1の取組による効果や評価と今後の課題等

(1) 効果

- ・本事業を契機に、当処理施設に捕獲個体を搬入した狩猟者は新たに 2 名増えるとともに、搬入頭数が約 2 割（R4：206 頭、R3：175 頭）増加した。

(2) 評価

- ・本事業を実施することにより、狩猟者のジビエ利用への関心を高めることともに、ジビエ利用拡大に寄与することができた。

(3) 今後の課題

- ・搬入頭数増加に伴う施設の受入体制強化等を検討する必要がある。

注：1の取組による効果や取組の評価を具体的に記入すること。

また、評価等を通じ明らかになった今後の課題等についても記入すること。

3 その他

- ・特になし

注：特記すべき事項があれば記入すること。